

～22号—2014年11月1日発行～

*10代、20代、30代以上の不登校・ひきこもりの方の社会参加を考えるNPO法人です。

ポラリス通信

～不登校・ひきこもりの対応ニュース～

「不登校・ひきこもりサポート相談室」始めました！

●相談室 facebook : <https://www.facebook.com/futoko.hikikomori.soudanshitu>

「不登校・ひきこもり・サポート相談室」は、NPO法人不登校情報センターで携わる相談員やカウンセラーなどの専門家たちが、10代から40代の不登校ひきこもりの本人及び家族を対象に、それぞれの社会参加にむけて行う相談室です。

NPO法人不登校情報センター

訪問サポート部門トカネット・代表藤原宏美

下記の予約先

[E-mail/tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp](mailto:tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp) (藤原) / 090-4953-6033(藤原)

■トカネット・今月の無料個別相談日のお知らせ (前日までの予約制) 3名様

◆11月11日(火)13時～

◆11月18日(火)13時～

◆11月29日(土)13時～

(☆上記以外の日にちを希望されます場合は、予約制、通常ご相談料金3000円です。)

不登校、ひきこもり、ニート、スネップ…、その多くに共通しているのは、学校や職場という社会で居場所も自信もなくしてしまい、新たに活動していく意欲や気力、モチベーションがなくなってしまうことです。

そして、その状態が長引けば社会に対する不安はさらに大きくなり、それが「孤立」にもつながっていきます。

私は以前から『今、学校に行かないこと、働かないことよりも誰とも関わっていないことの方が問題だと思う』と、あらゆる場で言い続けています。

その考えから訪問支援の必要性にたどり着いたのですが、これはいずれ学校復帰や就労を含めた社会参加につなげていくためにはいつまでも「孤立」してはいけないという事です。

そして、できれば子供だけでなく親御様も孤立しないでほしいな…と願います。

10月の「パステルアート教室」に参加されましたお母さまたちの感想です。「楽しかった」「自分の時間に浸れた」「私って、こんな色を選んだ、って発見でした。」「癒された」「達成感を感じました」…。こんな時間を時々持てるといいですね…。

情報センターは初めて自分に肯定感を持てる居場所です

『不登校情報センターに通う当事者からの手紙』

ハゼ助

ぼくは中学一年の夏休み明けから不登校です。自ら何も考えず独りよがり逃避して行かなかった。義務教育は誰もが我慢して行かなければならなかったのか。親や人の言うことを一切聞かずにいました。

小心者でプライドだけ高くて、何かにつけ優しい親に甘えて怠けてズルズルと歳をとっていきました。自業自得です。このままではまずいかもと、心の中で誰か救ってと、他力をあてにしていました。

情けないですが時は平等に経っていきます。ぼくも歳をとれば親も歳をとっていきます。今ある当たり前という日常が永遠には続かないと知り、自分の人生は自分でしかどうにかなりません。おじさんの年に近づいてようやく気づきました。

でも、子どものまま大人になり、どうしたらいいのかわかりません。ひきこもり、ニート関連の情報収集したり、意を決して支援機関のイベントに行ったりし始めました。しかし、外出も休日限定で、かなり出ても働くという(面接・履歴書書き)ことは手をつけられません。

ひきこもり脱後も月日だけがいたずらに経っていきました。そんな時に不登校情報センターのポラリス通信に「大人のひきこもりを考える会」という題名に目がとまり、そこに行きました。

初対面のぼくの経緯を話す流れになり、そのとき親身になって具体的なアドバイスをくれました。また来なさいと導かれて、このセンターに通うことになりました。

人との交流もなく働いたこともなかったこっちが変に気を使わないよう、安心するようにさりげなく気をつけてくれるセンターの人たち。しだいに安心感を得て通うようになりました。

事務作業というのをしていますが幾度もミスします。そんなときの落ち込みも、同じ作業グループの人たちにいろいろと教えてもらいます。松田さんの寛容な心と「失敗しながら覚えていく」という言葉で作業も続けています。

なんとか経営している厳しいなか、事務作業費という名目でお金もいただきます。本当の仕事ではないが、仮想仕事になっているような気がします。通所者の人ともあいさつ程度ですが交わしています。

コミュニケーションの大事さを知って居場所という意義が今になって重要だと改めて思うしだいです。ひきこもりから社会へ、その間にはとてつもない距離があります。人によるかもしれないが居場所はずっとひきこもっていたぼくからすれば、初めて肯定感を持って、外出できる場です。目的があつて外へ、少し浮きますが、うしろめたさはありません。

ですがだめな性根、無責任、わがまま、甘え弱さの幼稚さはそう変わりません。センターに通い、ここの人達はひきこもりだった人の気持ちを理解してくれます。変にかまえず、自分のペースでという空気感で安心感を得て少しですが自己肯定できてきました。

おばちゃんに次のステップは？ 早くしないと歳とっちゃうよと発破をかけられています。踏み出すのは自分しだいです。世の中の厳しさ知らず、もう30オーバーです。

このままかもしれません。また、ひきこもってしまうかもしれません。前進しても、後退してもここを足場にして進められたらと思います。そして繰り返して、歳をとっちゃうことになってしまうか？

★『ポラリス通信』のアンケートには、
10人からのお返事をもらいました★
どうも、ありがとうございました♪♪



● 先月の『ポラリス通信』のアンケートには10人からのお返事をもらいました。相談をしないこられた人もいます。送料がかかるのでこれで辞めますという形の協力申し出もありましたし、送料としてカンパをしてくれた人もいました。こちらとしてはカンパの形を希望します。送り続ける人は多いのはかまいません。

● そのアンケートの回答の中に、投稿欄があれば、体験者の書いたものがあれば、いろんな催し物の感想があれば、というものがありませんでした。そういう要望にこたえるのが今回の「ハゼ助」くんの投稿です。

引きこもり、不登校、対人関係、家族の様子、アルバイト体験などは、投稿があればすべて載せるつもりですので、思い切って書いてみてください。『ポラリス通信』の読者にはそれが参考になると思います。

● 催し物の感想は、ブログ「ひきこもり居場所だより」等に報告などの形で発表するようにしています。しかし、かなり忙しくて催しに参加した人に書いていただかないことにはとても間に合いません。いくつかの催しについては報告や感想はすっ飛ばしています。可能な人はブログなどを見てください。

(★ブログ「ひきこもり居場所だより」—<http://www.futoko.info/zwp1/>)

● 大きな催しよりも小人数の催しを計画するようにしています。参加者が10人を超えると一人ひとりの様子がだまかにしか伝わらないと感じるからです。

今月の『ポラリス通信』にはいろいろな小規模の取り組み計画が示されています。ときには参加者ゼロのときもあるでしょう。当分は参加者が多くなって困るという事態は想定できませんのでこれだと思うものには意を決して参加してください。

◆今後のお知らせ

(1) 「第3回・訪問サポートを受けたい親会」

●メンタルフレンド・社会生活サポーターとかかわって、不登校やひきこもりの人たちを社会参加につなげたいと考えている親の会です。具体的にご一緒に考えていきましょう！

*テーマ：どうやって他人につなげていくか？ 何が変わるのか？

*日時：11月15日(土)、13時～15時30分。

*参加費：一人500円。*対象：10～40代不登校・ひきこもりの人の親

(2) 第26回不登校・中退者の対応「ミニセミナー&質疑応答の会」

●何が子供におきているのか。●親が出来る事。●安心出来る人間関係を作っていくこと。●モチベーション・自己肯定感を上げていくこと。●学校復帰・バイト・友達づくりなどの社会参加につなげていくこと・・・など専門家と一緒に考えていきます。

*日時：11月24日(月・祝)、13時～16時。

*参加費：一人500円

*対象：10代および20代前半の子供の親・体験者・学びたい人

(3) 「大人のひきこもりを考える教室」

*レクチャー：

*日時：11月9日(日)、13時～15時。

*参加費：一人500円

*対象：親・体験者・学びたい人

◎上記は、全て予約制です(連絡先は下記まで)。

◎場所：NPO 法人不登校情報センター(JR総武線「平井」駅南口・徒歩5分)

◎地図は、下記のホームページ(URL)をご参照ください。



●NPO 法人不登校情報センター

●訪問サポート・トカネット

【発行元】 ポラリス通信編集部

〒132-0035 東京都江戸川区平井 3-23-5-101

連絡先

TEL/03-5875-3730/090-4953-6033(藤原)

E-mail/tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp

URL/http://www.futoko.info/tokanet/